

NPO法人七瀬の里Nクラブ

総合型地域スポーツクラブ



高齢者や 子どもたちの 健康と笑顔が 地域の活力

「多種目・多世代・多志向」を掲げ、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ「NPO法人七瀬の里Nクラブ」ができたのは、今から17年前。あらゆる世代が集い、一緒になって楽しむこのスポーツクラブは、多世代間の交流や地域のコミュニティづくりに大きな役割を担っています。野津原地域では、高齢化・少子化が進み、高齢者の健康維持や、少子化による部活動の種類減少によるスポーツ離れの問題が浮き彫りになり、それらの問題もバックアップしています。

クラブマネージャー
小井手 恵子さん



トップクラスの成績を誇る中学生硬式野

「雨の長浜さま」を活動の中心に 次世代へのメッセージを発信

大分県内の夏祭りのスタートとして行われる長浜神社の夏季大祭。古くから親しまれ、例年多くの人で賑わっている「雨の長浜さま」ですが、昨年は他のお祭りやイベントと同様、新型コロナウイルス感染症の影響によって規模縮小を余儀なくされました。

「夏祭りは疫病退散祈願を起源にもつものが多いといわれています。長浜さまは、長浜の市が起源と伝えられています。自然災害や、疫病のまん延を封じてもらうという願いも込められたお祭り。昨年は娯楽的側面の祭りは中止になりましたが、原点に立ち返って神事としての役割を再認識する祭りとして位置づけました」と、長浜神社氏子青年会・舞鶴町青年会会長の古田裕樹さんは語ります。

長浜神社の直属組織として2014年に発足した長浜神社氏子青年会ですが、発足以前から神社裏方のサポートや地域住民と



長浜神社氏子青年会・
舞鶴町青年会 会長
古田 裕樹さん



地域で活躍する人たち【大分中央エリア】

長浜神社氏子青年会

舞鶴町青年会



舞鶴町青年会
オフィシャルキャラクター
まいっつる君

神社とのパイプ役、祭りの運営・広報などの活動はしていたそうで、現在は古田さんを中心に氏子町内に住む青年層が所属しています。氏子青年会以外にも祭りや地域に関わる組織があり、メンバーは皆、二足三足のわらじを履いて複数の組織で活動しているというの、氏子青年会の特徴です。

近年、大分中央地域は、マンション建設などで若い子育て世代を中心に人口が増加している反面、そのような新しい住民と地域に元々住んでいる住民との交流の場が不足していることが課題となっています。氏子青年会では、祭りを通して、地域の交流を促し、地域を盛り上げていきたいという思いで活動しています。

祖父の影響で祭りに魅了され50を超える祭りに参加し、90以上の祭りに見てきたという古田さん。2018年には念願だった山車を作り、国民文化祭で初お披露目も。「先人から受け継いできた文化が凝縮され、地域の特色に直に触れられる祭りはなくてはならないもの。『つなげよう和の心』をテーマに掲げ、私たちは長浜さまという伝統ある祭りを中心に、地域の人たちをもっと元気に、活性化していきたいと思っています。」

自分たちの代で成熟させた歴史と文化が、次世代へと受け継がれていき、またその次の世代へ。コロナ禍で自粛ムードの終わりが見えづらくなっている今だからこそ、「アイデアに自粛はない」と、長浜神社氏子青年会および各組織のメンバーの奮闘は続きます。